

事業名：現場で体験NPO県職員研修

	所属	NPO法人市民社会研究所	NPO室	政策開発研修センタ
視点1 事業実施中、実施後に話し合いが十分になされましたか。				
	視点1-1 ニーズの反映	?	はい	はい
	視点1-2 ニーズの共有	いいえ	はい	はい
	特記事項		NPOとの協働の必要性が今後も高くなる一方で、新規職員はNPOについての知識がほとんどないことから、新規職員は悉皆研修として事業を実施しました。この前提により企画書を共に作成して、NPOについての基礎的な理論研修、現場での活動を視察する体験事業の実施について合意して契約しました。しかし、契約を結んだ後で、NPO側から、NPOについて県職員がNPOについて知識がない等、企画書を作成する際に討議した内容を十分に把握していないのではないかとと思われるような意見がでたことは大変遺憾です。	
視点2 事業の目的や事業に関わる意義を確認できましたか。				
	視点2-1 公共性と行政関与			
	・不特定多数の利益	はい	?	はい
	・地域課題の解決、社会変革	?	?	はい
	視点2-2 協働の妥当性	いいえ	はい	はい
	特記事項		この事業は、県職員研修の実施という行政の内部に向けた研修です。アンケートの結果では、協働について具体的に可能性を模索する回答もかえってきています。この研修を活かして、今後の施策に反映があれば、不特定多数や地域課題の解決につながっていくと思います。また、受託側でも他の地域のNPOとつながりが生まれる等、この事業の経験を活かした事業を行ってもらえれば、期待した効果があったと思います。	

	所属	NPO法人市民社会研究所	NPO室	政策開発研修センタ
視点3 それぞれの役割が明確に整理されましたか。				
	・役割分担	いいえ	はい	はい
	・責任分担	いいえ	はい	はい
	・情報共有	?	はい	はい
	・問題発生時の対応	?	はい	はい
	特記事項	中間ふりかえり会議以降で、情報交換を十分に行いました。		
視点4 事業を計画的に進めていくことができましたか。				
	・事業の目的	?	はい	はい
	・地域ビジョンと事業の方向性	?	はい	?
	・実施計画と収支計画	いいえ	はい	はい
	・実際にかかる費用分担と予算管理	いいえ	はい	はい
	・スケジュールの管理と進捗状況	いいえ	はい	いいえ
	・事業の進捗を客観的に判断する具体的な成果指標	いいえ	はい	?
	・成果物の帰属	?	はい	?
	・事業完了時期	はい	はい	はい
	・事業終了後の方向性の共有	?	はい	?
	特記事項	計画段階から話し合いを深めて、企画書を細部にわたって作りました。しかし、実際に事業を実施する段階で、合意した企画書の内容を、理由を説明されないまま変更できないかいわれたり、ポイントとなる研修回数が減ったり、少人数（15名程度）の想定が増える等事業を実施していくうえでの信頼感が損なう場面が、少なからずあったと思います。経験値が、少ないNPO法人と事業を進めていくには、当初から細部を想定しておくことが必要だと強く感じました。		
		研修という事業の性格上、あてはまりにくい項目もある。		

	所属	NPO法人市民社会研究所	NPO室	政策開発研修センタ
視点5 参加・参画の体制づくりはうまく進みましたか。				
視点5-1	当事者性	いいえ	はい	はい
視点5-2	対話	いいえ	はい	はい
視点5-3	意思決定	いいえ	はい	いいえ
視点5-4				
	・役割分担	いいえ	はい	いいえ
	・責任分担	いいえ	はい	いいえ
	・情報共有	?	はい	はい
	・問題発生時の対応	?	はい	はい
特記事項		実施体制については、協働する組織の担当者がでておこないません。それぞれに、フォローができたと思います。		
視点6 事業実施段階で欠けていた視点や、今後必要とされる仕組み、制度等はないでしょうか。				
	事業計画の段階で、民の声が反映されていない。企画の段階から話し合うことも大切な協働といえる。なお、事業終了後の報告書の作成、収支決算などにかかる人的費用が積算されていないことも、今後の課題として考えられる。	今後は、各地域の中間支援組織が中心	研修の実施を決定する段階で、必要なスキル等を持ち合わせているのかどうかを十分に把握しておく必要があった。本研修にあたっては、ファシリテーションのスキル、危機管理、CS等。	